

2. 地域の大学における起業家教育の取組

Tongaliプロジェクト（東海地域7大学）

〈趣旨〉 東海地域の大学*を中心に連携し、**Tongaliプロジェクト**と称したアントレプレナーシップ教育を、学生や若手研究者を対象に提供。

(*) 名古屋大学、豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、岐阜大学、三重大学、名城大学、中京大学、名古屋市立大学（予定）、藤田医科大学（予定）



- Tongaliプロジェクト共通プログラムを構築し、スクール、コンテスト、海外研修、壁打ち等を実施
- 各大学の独自プログラムとして、社会起業家養成、アイデアソン、ノースカロライナ州立大学とのアントレプレナー研修、東ワシントン大学協働セミナー等、多彩なプログラムを提供
- Tongaliプロジェクト（セミナー、研修、講義等）の参加者は延べ3532人（2019年3月末現在）

学生のスタートアップをシームレスに支援

IV. 大学の取組

3. 大学と地方自治体、民間のスタートアップ創出・支援に関する連携

〈趣旨〉 地方自治体、民間企業と、様々な形態で連携し、スタートアップ創出・支援を実施



×

愛知県

スタートアップ・エコシステム形成に関する協定書を締結



シンガポール国立大学とアントレプレナーシップ教育面、スタートアップ支援面での連携（愛知県）



米国テキサス州開催の「サウス・バイ・サウスウエスト（SXSW）」の見本市に出展する学生・研究者チームを派遣（愛知県）



×

民間

Tongali メンター （12名）

Tongali サポーター企業・団体

23社/団体（2020年1月末現在）

特定基金「大学発ベンチャー応援事業」への寄附など



Tongaliとして、インキュベーション施設の運営に参画



連携して、大学発スタートアップを支援

Tongaliプロジェクトに参加している学生のビジネスアイデアのブラッシュアップ、スクール講師など



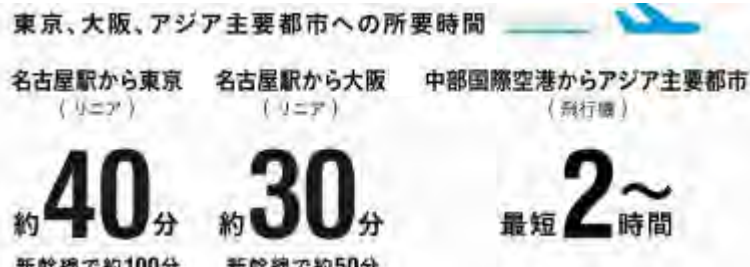
飯野 将人氏 **堤 孝志氏**
ラーニング・アントレプレナーズ・ラボ株式会社 代表取締役

北岡 侑子氏
日本ベンチャーキャピタル株式会社 常務執行役員

地方自治体・民間企業との連携による大学発スタートアップの創出支援

V. 都市の環境・繋がりの状況

どこに行くにも便利な巨大交通インフラ網



スーパー・メガリージョンの中心地で 生まれる新しい無限のチャンス。



三大都市が一体となった巨大都市圏想 **スーパー・メガリージョン**

日本最大のものづくりの街



資金調達額、全国2位。 今、スタートアップは名古屋が熱い。

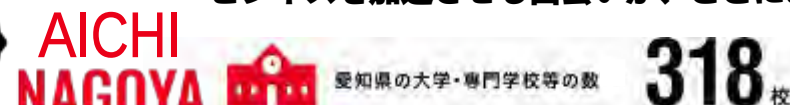
スタートアップ企業の
資金調達額 ※1
(愛知県)

大学発ベンチャーの
資金調達額 ※2
(名古屋大学)



※1 JAPAN STARTUP FINANCE REPORT 2019 上半期 (株)ジャパンベンチャーリサーチ
※2 JAPAN STARTUP FINANCE REPORT 2018 (株)ジャパンベンチャーリサーチ

学生、投資家、異業種人材などなど。 ビジネスを加速させる出会いが、ここにある。



コストパフォーマンスに優れた暮らしをこの街で。



快適な生活環境 (=平均通勤時間) (分)

家計主の通勤時間中位数



起業家・スタートアップにとって充実した都市環境

ステーションA i

なごのキャンパス
NAGOYO CAMPUS

OICX of Nagoya University
おきな大学オープンイノベーション拠点

INNOVATOR'S
GARAGE

ソフトピアジャパン
センター

知の拠点
あいち

エス・バード

ものづくり創造拠点
SENTAN

Co-startup Space &
Community
「FUSE」

豊橋
サイエンスコア

CLUE

ユマニテク
プラザ

施設名	所在地	特徴
ものづくり 創造拠点 SENTAN	愛知県 豊田市	「空飛ぶクルマ」をはじめとした次世代産業創出の支援など、ものづくりに特化した新事業展開・イノベーション創出を支援する施設
知の拠点 あいち	愛知県 豊田市	大学等の研究成果をモノづくり産業の技術革新（イノベーション）につなげ、既存産業の高度化や次世代産業を創出するため、次世代モノづくり技術の創造・発信の拠点
豊橋 サイエンス コア	愛知県 豊橋市	事業化を目的とする産学官連携研究や、起業・新規事業の創出を支援する「豊橋イノベーションガーデン」の運営、多様な研修による人材育成など、ニーズにあわせた地域産業育成支援のための拠点施設
CLUE	愛知県 豊橋市	組織の枠を超えた多様な人々の出会いを導き、そこから生まれる独創的なアイデアで社会課題を解決する事業を生み出すことを支援する施設
ソフトピア ジャパン センター	岐阜県 大垣市	次世代のクリエイティブリーダーの育成を目指す「IAMAS（イアマス:情報科学芸術大学院大学）」をはじめIT関連企業が集積し、産業、教育、福祉等あらゆる分野が情報化された「暮らしよい岐阜県」の実現を目指す施設
ユマニテク プラザ	三重県 四日市市	職業技術教育のノウハウを生かした「時代の要請に応えられる有為な人材育成」や、大学機関等の機能を十分活用した「産学官連携による知の拠点づくり」を兼ね備えた施設。
エス・バード	長野県 飯田市	航空機産業をはじめとする地域の産業の高度化、高付加価値化とそれらに関わる人材育成を図るための施設
Co-startup Space& Community 「FUSE」	静岡県 浜松市	浜松いわた信用金庫・㈱HUB Tokyo（目黒）が運営する、創業・第2創業、新事業展開を志す方々への伴走支援を行う拠点。コミュニティ・ビルダーが常駐する他、アクセラレータープログラムも充実。2020年7月オープン予定

中部圏内の特徴ある拠点施設と連携

V. 都市の環境・繋がり

3. スタートアップや支援者の交流する場（シェアオフィス、カフェなど）



名古屋の都心部を中心に、スタートアップが利用できる場が増加

4. スタートアップ関連イベントの開催状況



あいちスタートアップキャンプ
 ①起業教育 延べ参加59人
 Midland Incubators HOUSE開催
 ②ピッチイベント 参加48人
 WeWork名古屋 開催
 愛知県主催



第4回Tongaliアイデアピッチコンテスト
 なごのキャンパス 開催
 Tongali主催 参加**150**人



NAGOYA BOOST DAY
 名城大学 開催
 名古屋市長主催 参加**180**人



「TongaliスクールⅡ 起業の考え方とスキル」
 名古屋大学 開催
 Tongali主催 参加**87**人



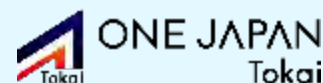
ピッチ&フォーラム『モビリティの未来』
 ナゴヤイノベーションズガレージ 開催
 中部経済連合会 & Plug and Play Japan 主催
 参加実績 **109**社 **225**名



アカデミックナイト
 中部圏を代表する8大学の次代を創る教員
 100名以上が登壇、企業とマッチング
 延べ参加者**229**人



Startup Weekend Nagoya
 中電CTI 開催
 Startup Weekend Nagoya 主催
 一般社団法人 未来創造 運営
 参加**120**人

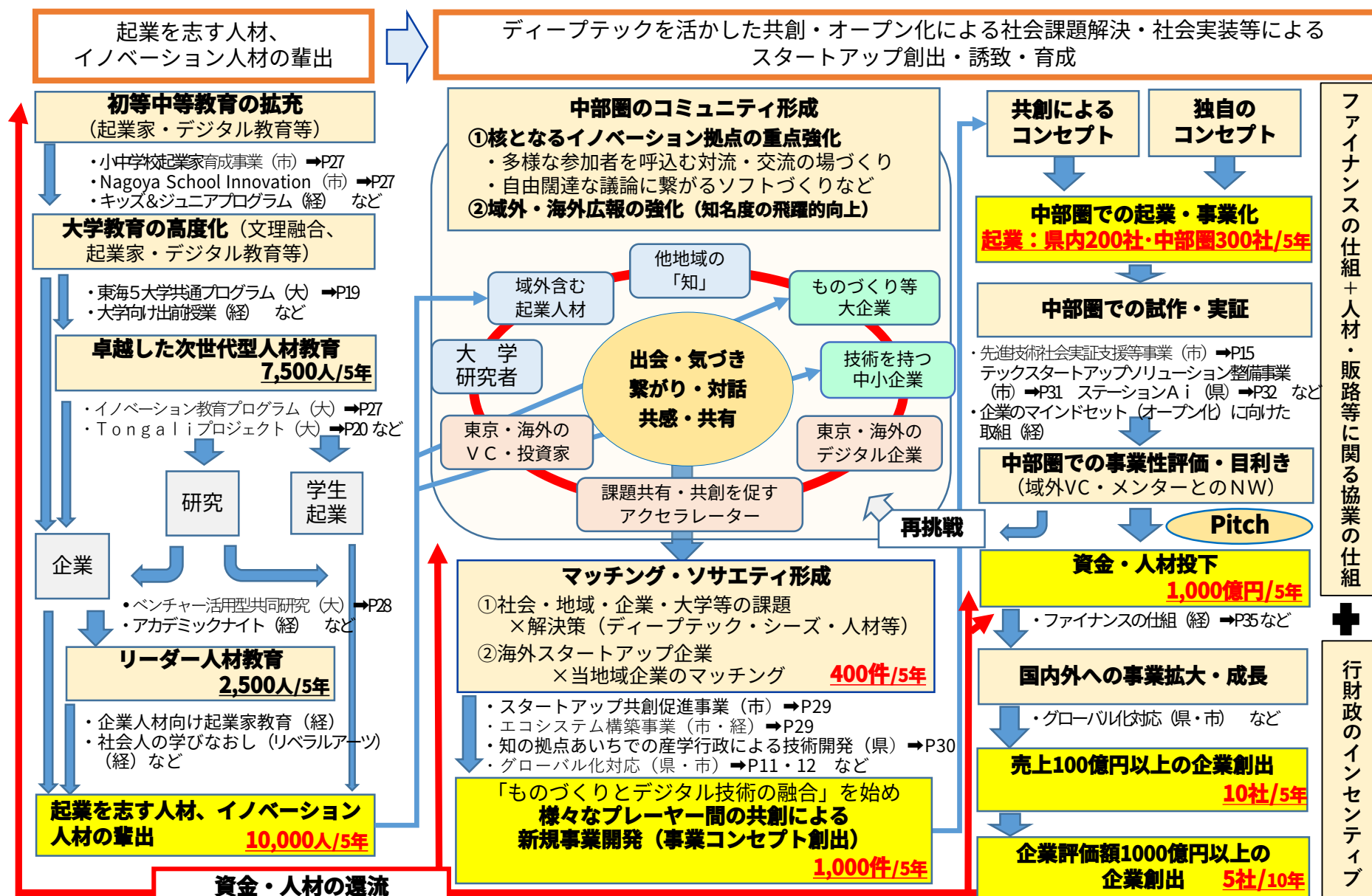


ONE JAPAN Hackathon×Tokai
 株式会社エイチーム 開催
 ONE JAPAN Tokai 主催
 参加**80**人



産学官で盛り上がりをもせるスタートアップシーン

<スタートアップを生み、誘致し、育てるメカニズム>



コンソーシアムのメンバーが、一緒に走りながら、考え、実現を目指す

1. 人材育成

卓越した次世代型教育を受けた人材の輩出

イノベーション教育プログラム（名古屋大学）

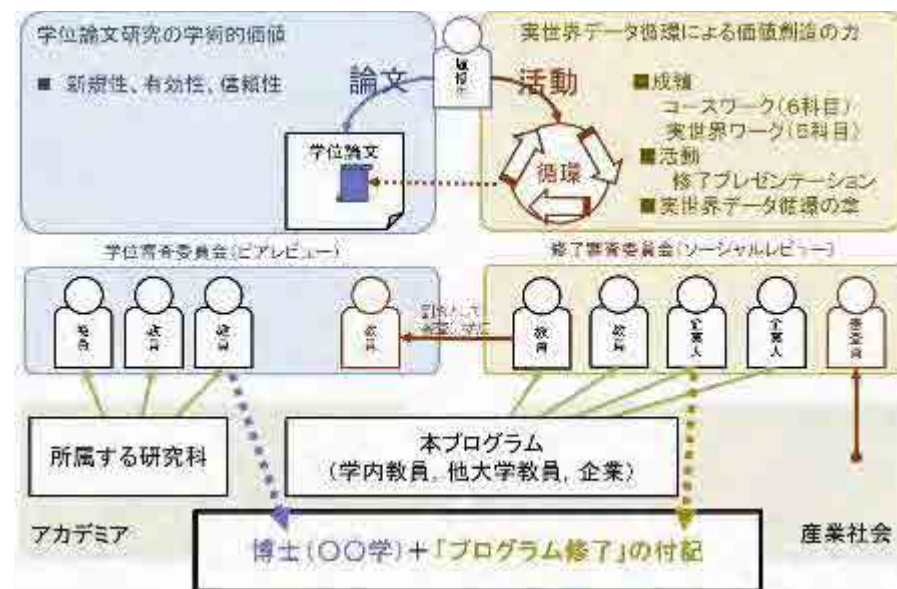
国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された教育プログラムを構築し、俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーになれる優秀な学生（リーダー）を育成する。

<社会的価値を重視した新しいカリキュラムと学位審査>

博士学生のトランス
ファブリススキル
(汎用) 教育

社会的価値を
重視する学位審査

起業を中心とした
新しい博士
キャリア像



卓越した次世代型教育を受けた人材の輩出

小中学生起業家育成事業（名古屋市）

イノベーションの担い手となる、起業家予備軍を育成するため、小学生→中学生と段階的に、起業を体験し、起業家マインド（チャレンジ精神、創造性等）や、起業家的資質（情報収集・分析力、判断力、実行力、リーダーシップ等）の育成を行う。

小学生向けプログラム

社会や経済の仕組みについて、楽しく学ぶほか、起業家という存在を身近に感じてもらう体験型プログラムを実施

経済体験プログラム
50人×4回

中学生向けプログラム

ITビジネス起業を疑似体験し、起業家意識を醸成する体験型プログラムを実施

1dayプログラム 100人×1回
3dayプログラム 100人×1回

卓越した次世代型教育を受けた人材の輩出

Nagoya School Innovation事業（名古屋市）

社会が劇的に変化の中で、「自らの可能性を最大限に伸ばし、人生をたくましく生きていく」なごやっ子を育成するために、「子ども一人ひとりの興味・関心や能力、進捗に応じた学習」を授業改善・環境整備・広報啓発の3つの観点から推進する。

個別最適化された学びを提供する授業改善の推進

<主な取り組み>

EdTechサービス企業やオルタナティブ教育機関をはじめとした民間等のもつ力を活用し、誰一人排除しない、個別最適化された学びを提供する新たな学校（園）モデルの実践研究を実施
実践研究プロジェクト 幼稚園から高校まで6プロジェクト

新時代の学びを支える環境整備

<主な取り組み>

個別最適化された学びを提供するためのNagoya仕様のICT環境整備に向けて、最適なソフトウェアやコンテンツ等を検討する産官学民からなる有識者会議を設置

広報・啓発

<主な取り組み>

保護者・市民理解の促進のため、個別最適化された学びや学校改革の必要性、本市の取り組みをウェブサイト上で広く情報発信

個別最適化された学びを推進し、すべての子どもたちのもつ可能性を最大限に伸ばす

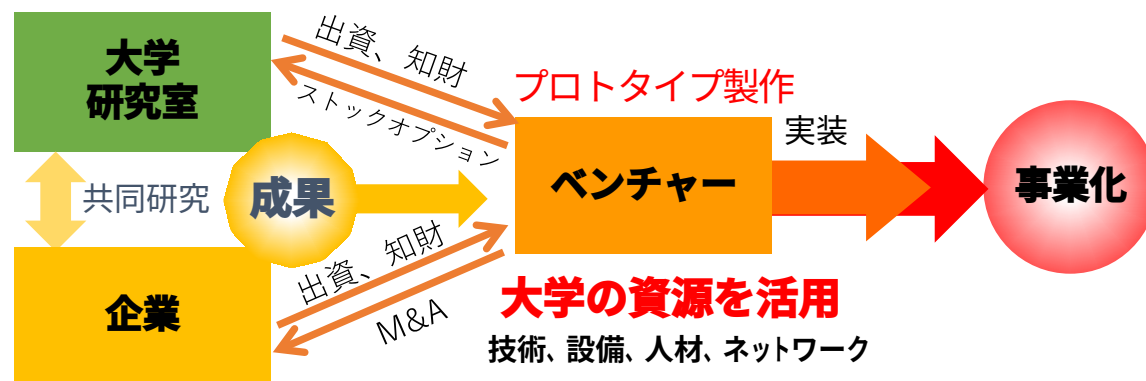
エコシステムの核となる人材を幅広く育成

1. 共創・オープン化

ディープテックを活かした共創・オープン化

共同研究〈ベンチャー活用型共同研究〉

〈趣旨〉大学・企業・ベンチャーの3者が連携することによって、共同研究で生まれた成果の早期社会実装を実現するとともに、密接な相互扶助の関係を構築する



研究室発ベンチャー

IT/IoT・AI 2016年設立 (株)ティアフォー 自動運転システム販売、インテリジェントビークル開発の人材教育、高精度3次元地図の配信サービス、ナビ連動型ライブ広告サービス事業を展開	素材・材料など 2016年設立 (株)U-MAP AINウィスカーフィラー等の破壊的な新材料とAIを駆使した加工技術により革新的工業製品を展開、日本の技術競争力強化を実現する
IT/IoT・AI 2015年設立 (株)オブティマインド AIを活用したラストワンマイルのルート最適化クラウドサービス「Loogia」の開発・提供・最適化コンサルティングを実施	創薬・医療・ヘルスケア関係 2018年設立 Icaria(株) 独自デバイスで尿中エクソソームを99%以上捕捉し1300種類の尿中miRNA捕捉に成功。肺がん診断アルゴリズムは正答率98%を記録。

＜研究機器の活用＞

- ・高度な研究機器を活用したプロトタイプ製作
- ・教授、若手研究者、学生からのアドバイス
- ・技術セミナー、研究交流
- ・仮説検証



名古屋大学オープンイノベーション拠点 (OICX)

＜ワンストップベンチャー支援＞

ベンチャー育成担当者を配置

＜プロジェクト組成＞

企業提示課題を入居ベンチャーや学生が解決提案

＜研究室オープンゼミ＞

研究室のセミナー、研究報告会を入居ベンチャーや企業に公開

＜ハンズオン支援＞

- ・事業戦略への助言
- ・オフィスの提供
- ・事業パートナーとのマッチング
- ・優秀な経営人材候補を紹介
- ・補助金の獲得と運用についての助言
- ・事業提携を見据えての大企業との連携
- ・自治体を巻き込んだの実証試験

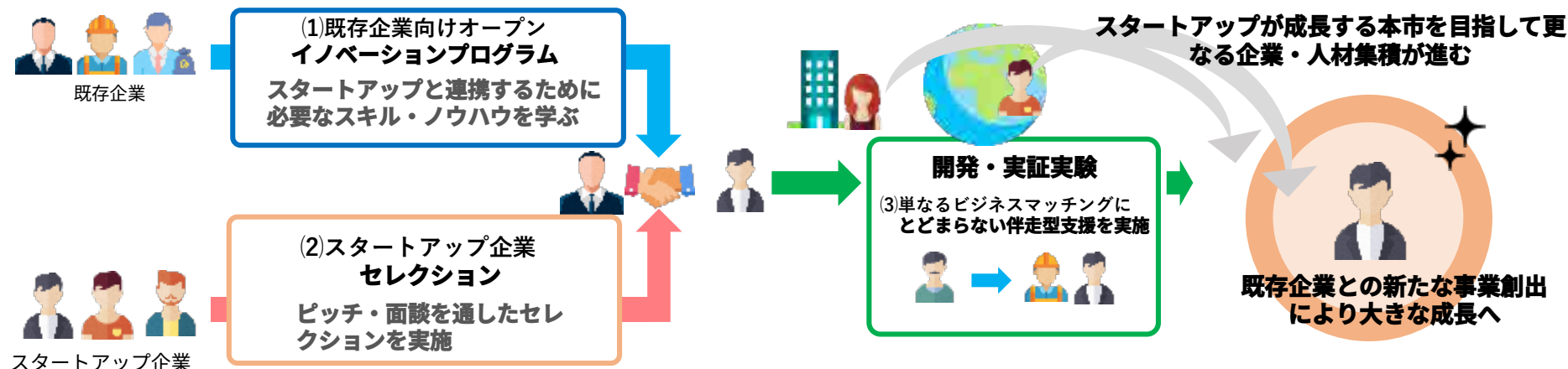
ベンチャーを通じて大学の技術を早期に社会実装し、実用化を加速する

2. 共創・オープン化

ディープテックを活かした共創・オープン化

スタートアップ共創促進事業（名古屋市）

〈趣旨〉 事業会社とスタートアップ企業との共創を促し、マッチングに留まらず、開発までをサポートして実効性を高める。

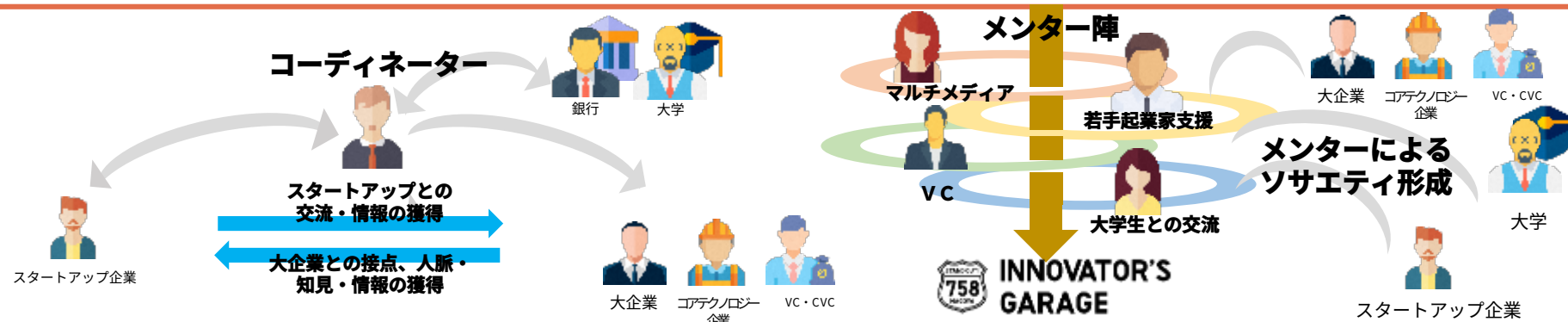


既存企業とスタートアップ企業の共創を実践したロールモデルを生み出す

ディープテックを活かした共創・オープン化

エコシステム構築事業（名古屋市・中部経済連合会）

〈趣旨〉 スタートアップ企業にとって有益な情報を収集するためのコーディネーターやメンターを配置するとともに、スタートアップ企業との共創に積極的な企業を「NAGOYA STARTUP-INNOVATIONPARTNER（仮称）」として認定。



コーディネーターやメンターを核としてコミュニティを形成するとともに、共創に積極的な企業を認定

3. 共創・オープン化

ディープテックを活かした共創・オープン化

「知の拠点あいち」における産学行政連携による技術開発（愛知県）

〈趣旨〉 産学行政連携の拠点「知の拠点あいち」（あいち産業科学技術総合センター、あいちシンクロトロン光センター、新エネルギー実証研究エリア）を整備し、技術開発を推進

- あいち産業科学技術総合センター：高度計測分析機器による計測・分析・評価など、企業の研究開発支援
- あいちシンクロトロン光センター：ナノテク分野の産業利用を主目的とした地域共同計測分析施設
- 新エネルギー実証研究エリア：実証研究フィールドを企業に提供し、新エネルギー関連技術の実用化を支援

付加価値の高いモノづくりを支援する研究開発の拠点～世界と闘える愛知・名古屋実現のための基盤～

新エネルギー実証研究エリア
(2016年3月～)

あいち産業科学技術総合センター
(2012年2月～)



あいちシンクロトロン光センター
(2013年3月～)

重点研究
プロジェクト

- ① 近未来自動車技術開発プロジェクト
- ② 先進的AI・IoT・ビッグデータ活用技術開発プロジェクト
- ③ 革新的モノづくり技術開発プロジェクト

産・学・行政、未来をつくる知の連携

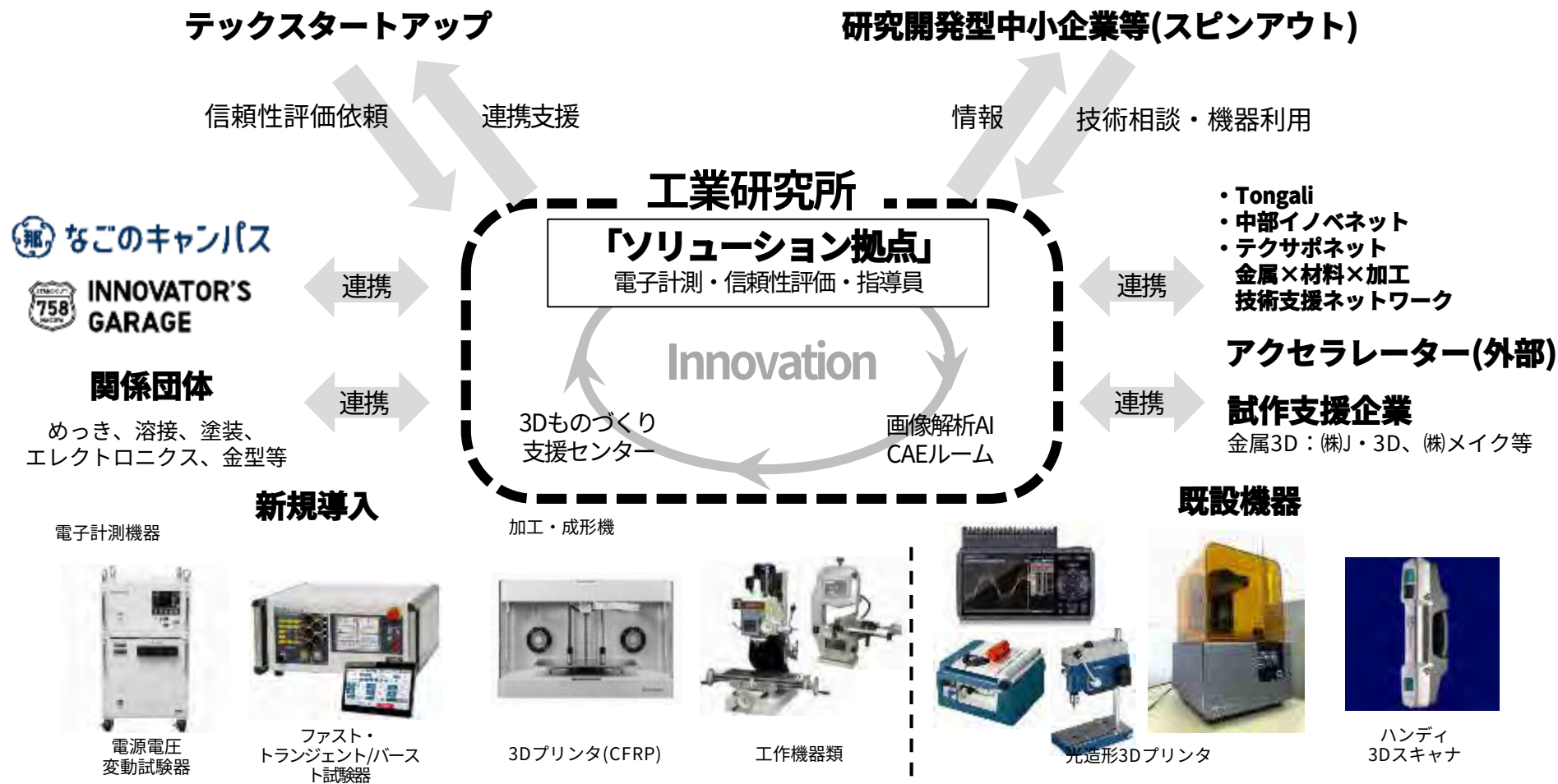
4. 共創・オープン化

ディープテックを活かした共創・オープン化

テックスタートアップ・ソリューション整備事業（名古屋市）

〈趣旨〉

テック系スタートアップ企業等を支援するため、名古屋市工業研究所内に試作補助等の支援拠点を整備し、名古屋発の新技术・新製品開発を支援する。



名古屋市工業研究所の持つ専門的な知見・ノウハウをテックスタートアップに提供

5. 共創・オープン化

ディープテックを活かした共創・オープン化

日本最大・世界最高レベルのスタートアップ中核支援拠点「ステーションA i」

- ・日本最大・最高レベルのスタートアップ中核支援拠点「ステーションA i」を愛知・名古屋の中心部に整備
- ・ステーションFを始めフランス、アメリカ、中国、シンガポールの最高クラスのスタートアップ支援機関・大学との連携を通じて、世界最高レベルの支援プログラム等をワンストップ・ワンルーフで提供
- ・世界最先端のエコシステムと愛知のエコシステムとを融合し、新たなイノベーションを創出する日本で唯一の総合支援拠点

- ・世界最大のスタートアップ支援機関であるステーションF（34,000㎡、1,100社、4,000人入居）に匹敵する我が国最大のスタートアップ中核支援拠点
- ・急速なデジタルシフトを見据えた新しい行動様式やワークスタイルに対応するオフィスデザイン、ゾーニング

2023年度オープン予定



- [上層階]**
 - ◆ 宿泊・研修施設
- [中層階]**
 - ◆ スタートアップ及びパートナー企業等向けオフィス
 - ◆ テック・ラボ機能（試作品作製、評価等）
 - ◆ 会議室／行政支援窓口
- [低層階]**
 - ◆ カフェ・レストラン等
 - ◆ セミナールーム

海外の先進スタートアップ・エコシステム

愛知県が連携・連携を目指すスタートアップ支援機関・大学



【事業規模】

- 床面積 : 30,000㎡超 **〔日本最大〕**
- 利用社数 : 1,000社 **〔日本最大〕**
- 整備費 : 149億円

あいちスタートアップ・エコシステム

146者によるスタートアップ・エコシステム構築基盤組織を2018年4月に設立



国際的なイノベーション創出の拠点形成

地域総合戦略
「Aichi-Startup戦略」

スタートアップと地域のモノづくり企業等の交流により新たな付加価値が創出される総合支援拠点

中部圏の目指す姿〔経済界（中経連）の取組〕

卓越した人材の輩出、共創・オープン化等

〈趣旨〉経済界の課題意識を、産学官に働きかけ、合意形成・実現を目指す

ステップ1（2020年～2024年）	ステップ2（2025年～2029年）	ステップ3（2030年～）
拠点都市の選定 栄再開発・名駅整備進展	リニア開通・スーパーメガリージョン形成 エコシステムの加速度的成長	熱量集積
1 拠点（ガレージ等）の重点強化 ①コミュニティの形成（ソフトの充実等） - 情報共有・意識向上プログラムの充実 - 自由に議論できる場づくり（ピッチ＆フォーラム「モビリティの未来・デジタル産業の未来」等） - 大学シーズ起点の異分野融合プロジェクトを増やす仕掛け（「アカデミックナイト」の充実等） - 地域の主要な拠点・大学とのネットワーク強化 - 国内VCとのネットワーク構築（詳細「35頁」） ②海外広報強化による地名度の飛躍的向上（スタートアップガイド名古屋版刊行等）	1 栄再開発等を起点とした都心部での拠点機能強化・集積／拠点を核としたまちづくり ①拠点、企業・大学の出島組織、富裕層向けホテルと一体の都市型マيس等の都心部の立体的集積 ②スタートアップの集積地、社会実装・実証が可能な特区等の拠点周辺エリアへの展開 	エコシステムの確立 →新産業・スタートアップを自己増殖的に創出、誘致、成長させる地域へ →国内外の対流交流の活発化、外の「知」と当地域「知」「技術・産業基盤」との融合 →環境・人口問題等、社会課題を解決できるイノベーション先進地域への進化
2 ひとづくり ①アクセラレーター育成・招致（4人→20人） ②企業人材向け起業家教育（ビヨンドザボーダー）（リーダー人材1,000人/10年育成） ③社会人の学びなおし（リベラルアーツ） ④大学向け産学共創教育（「企業人材の出前授業・大学1・2年向けキャリア教育」等） ⑤次世代人材育成・雇用に関する課題提起	2 ひとづくり（人材エコシステムの構築） ①起業を志す人材、イノベーションを担う人材の育成システム強化 ②デジタル人材、アクセラレーター等、社会が必要とする人材の育成システム強化 ③グローバルなリーダー人材の育成システム強化 ④雇用流動性の向上	立体的集積のイメージ 
3 しごとづくり（詳細「34頁」） ①有望な事業領域の明確化・強化、デジタル産業強化（誘致・ハード整備・ソフト検討）等	3 しごとづくり（詳細「34頁」）	
4 広域連携の強化 ①中央日本交流・連携サミット（2/7）での合意に基づく、5県1市での実行活動の具体化	4 広域連携の成果の具現化	

経済界の働きかけを起点に、まち・ひと・しごとづくりを総合的に推進

経済界（中経連）を中心とした中部圏のGDPを維持するための取組（「しごとづくり」）

ディープテックを活かした共創・オープン化

〈趣旨〉・中部圏の持つディープテック等を活かしたイノベーションにより、10兆円規模の新産業を創出（1兆円×10分野）
・若者を域外・世界から呼び込み持続的に成長（付加価値・生産性を向上、地域の文化・歴史・自然・アイデンティティ等を守る）

具体的な取組

（注）10分野の項目は例示

候補① 航空・宇宙産業

産業基盤×名大・岐大・信大
×専門人材育成×行政、ほか

候補⑩ サービス産業

（観光、芸術、飲食（酒）、小売、
伝統工芸等）

候補② 次世代モビリティ （CASE・MaaS等）

トヨタG×名大×IT×行政、ほか

候補③ ロボット・革新的デバイス産業 （デジタル・IoT・AI等）

産業基盤×名大ほか×JFCCほか×IT

候補④ 素材軽量化・Co2削減・水素

産業基盤×名大・信大×知の拠点あいち
ほか

生産年齢人口が3割減少
（なりゆきならGDPも3割減少）
することが確実視される

2050年までに
「1兆円／分野の新産業」を
「10分野」で創出

- ①経済界が働きかけ、コンソーシアムの
場等で、有望な領域を検討・明確化
- ②中部圏の産学官が、広域で連携し、取
組を深化・具体化

候補⑨ 物流機能強化・スピード化

（ものの次世代モビリティ→物流自動化、
インフラNW間の接合等）

候補⑧ デジタル・ツイン産業（セキュリ ティ、マルチメディア、アプリ等）

デジタル産業誘致・集積×ディープテック

候補⑦ 次世代人材育成・教育産業

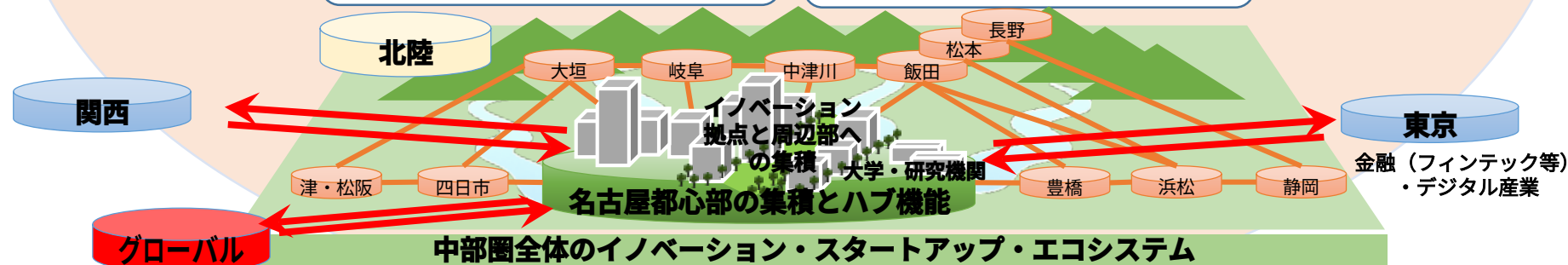
（デジタル・AI人材、グローバル・リー
ダー、アクセラレーター等×各分野）

候補⑤ ナノバイオ技術・環境ビジ ネス（農業・医薬・健康・水等）

産業基盤×名大・三重・信大ほか

候補⑥ 農林水産業高度化・輸出

豊かな自然×岐大・三重・静大・信大
ほか×IT・働き手・販路・付加価値



経済界が働きかけ、大学のシーズ活用、各県の政策との連携で、中部圏全体で新産業創出を目指す

Creating a New Society with standout technologies and innovators

食料・アグリ

健康・ヘルスケア

航空・インフラ

モビリティ・AI

農業生産向上へ

長寿社会へ

スマート社会へ

Healthcare & Biotech

Material & Manufacture

AI & IoT

名古屋発 トンガった技術

Biotech × 接ぎ木

Molecule vs 雑草

Micro RNA x 癌

SiC x AI

GaN x AI

AI x 物流サービス

GRA&GREEN

ITbM

ICARiA

Alxtal

IMaSS 未来材料・システム研究所

OPTIMIND

異なる品種の植物を安定的に接木できる技術「異科接木法」を開発。ストレスのある土壌にも強い品種の根と、栽培したい品種の地上部を簡単かつ効率的に接木する装置により、食の安全と持続可能な農業に貢献する。

アフリカの穀物生産に年間1兆円以上の損失を与える寄生植物「ストライガ」の駆除に有効な分子を見出した。極めて低用量でも高い除草効果を示し、安価に合成できるために、アフリカの食糧問題の解決に寄与できる。

がん細胞から分泌されて尿中に含まれる微量のMicroRNAを独自開発のデバイスにより高効率に分離・回収することで、痛みのない高精度のがん検診を実現する。

AIを活用したプロセスインフォマティクスによる高品質SiCウェハの製造、開発と、プロセスインフォマティクスのノウハウを使って他の先端材料や製造・設計プロセスを最適化させる。

次世代半導体GaN（窒化ガリウム）を基盤とし、電力の変換や制御をするパワーデバイスや無縁給電システムを研究、開発しており、省エネルギー社会を実現する。研究普及組織として愛知発でGaNコンソーシアムを設置し、現在はall-JAPAN体制で進めている。

AIを活用したラストワンマイルのルート最適化クラウドサービス「Loogia（ルージア）」の開発、提供、最適化コンサルティングを行う。世界のラストワンマイルを最適化する。

ベンチャーファイナンスの仕組強化

ベンチャーファイナンスの仕組みを構築

〈趣旨〉中経連が主体となり中部圏のベンチャーファイナンスの仕組を強化し、ベンチャー企業に対する投資文化や風土を醸成

中部圏のベンチャーファイナンスの現状

中部圏はベンチャー企業に対する投資文化や風土が希薄であり、ベンチャーファイナンスの仕組が脆弱

根本的要因②

ベンチャー企業が少ない



- ① ベンチャーキャピタルが少ない
- ② エンジェル投資家の不足
- ③ 独立系ベンチャーファンドが少ない

根本的要因①

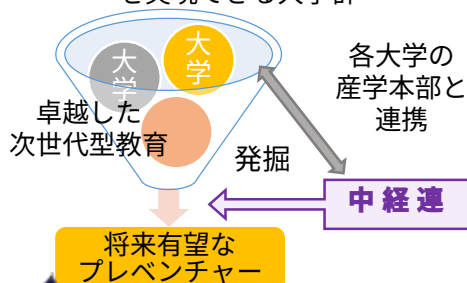
ベンチャー企業に対する投資文化・風土が希薄

中部圏のベンチャーファイナンスの仕組強化のための取り組み（今後）

【中経連主体の取り組み①】

将来有望なプレベンチャーの発掘

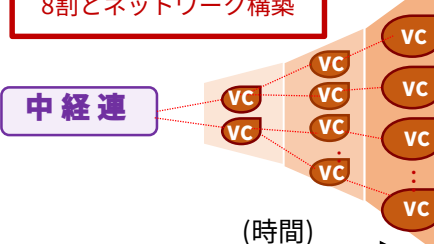
Tech Innovation Smart Society
を実現できる大学群



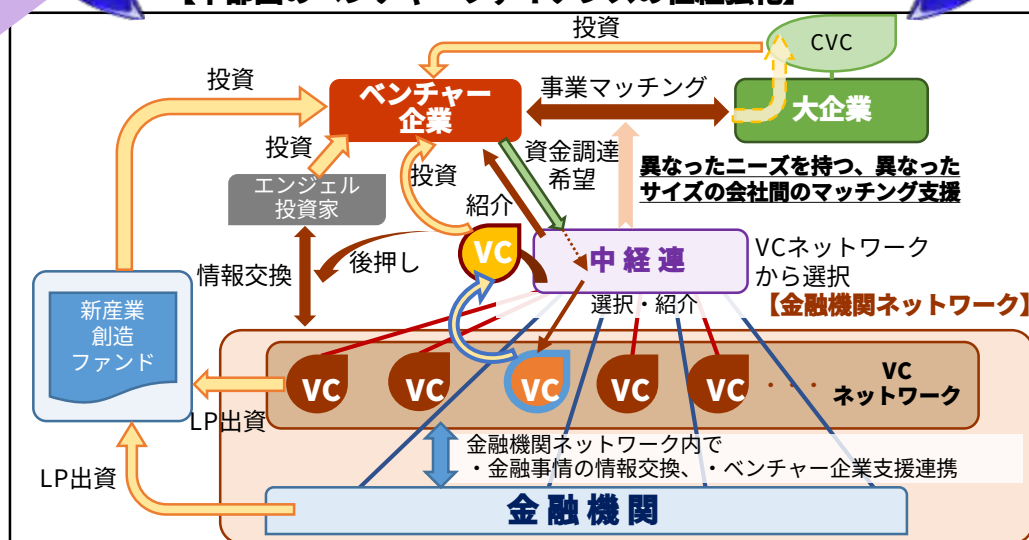
【中経連主体の取り組み②】

国内VCとのネットワーク構築

KPI：国内VC 197社の
8割とネットワーク構築



【中部圏のベンチャーファイナンスの仕組強化】



中経連が主体となり、将来有望なプレベンチャー発掘や国内VCとのネットワークを構築、ベンチャーファイナンスの仕組を強化

新型コロナウイルス感染症の影響

- 新型コロナウイルス感染症の影響の正確な想定・予測は難しいが、その影響は、観光・飲食など、人の移動・集まりに関連する産業に留まらず、自動車産業を始めとしたものづくり産業にも及び、スタートアップにとっても厳しい環境が続く。
- 他方、ベンチャー企業やデジタル産業の集積の薄さが地域の弱みであった中部圏にとっての今回のピンチは、良質なスタートアップを生み出し（呼び込み）、育てる千載一遇のチャンス。
- すなわち、新しい生活様式（リモートワークの進展等）に伴うデジタル化の急速な進展や、東京一極集中の緩和の流れ、さらには、東京・世界のV Cの当地域の有望なスタートアップに対する積極的な投資意欲等のいずれも追い風となる。

**この追い風に乗る、コロナ禍での時間軸を意識した戦略を立て
新たな社会システムを生み出す原動力を担うスタートアップの活動を支援し、共創を促す
ことで、テクノロジーを活用してウィズコロナ・アフターコロナの新たな社会を創造する**

Next Societyの実現

緊急事態宣言後～ウィズコロナ期の取組

- ・ 有望なスタートアップや大学の研究の継続に必要な支援、企業・（東京圏等の）V Cとのマッチング等の強化
- ・ 様々な手続／販売・業務プロセスのデジタル化、省人化、遠隔での設備監視や顧客対応など、成果が見込み易いDXの進展と、デジタル系ベンチャーの育成・誘致
- ・ 世界中の人材・投資を惹きつけるまちづくりや、大学（研究拠点）の機能強化に向けた計画の具体化

アフターコロナ～中長期の取組

- ・ 「人の価値観の変化」「ワークスタイルの変化」「東京への一極集中の緩和」「事業創出を促す規制緩和」等により新規の事業機会を見出す、有望なスタートアップを見出し、育成・誘致する仕組みの構築
- ・ 3密の回避（無駄な移動や会議の見直し等）をきっかけに生まれる異空間接続、オープンイノベーションの加速

変化の時だからこそスタートアップの火を絶やさない

ウィズコロナ、アフターコロナという過去に類を見ない変化を「機会」と捉え、イノベーションを起こそうとするスタートアップが必ず生まれてくることから、スタートアップエコシステム形成の活動をより活性化していく。

○オンラインを活用した付加価値の高い事業運営

高まってきたスタートアップ機運を消さず、ウィズコロナ、アフターコロナ時期の経済回復、新産業創出を図るため、予定していた事業を基本的に全て実施する。オンラインセミナー、オンライン会議を積極的に活用し、遠隔地からの参加や交流の拡大を図るほか、オフラインとオンラインを併用し、それぞれの特徴をより活かした事業運営を行う。

- ・Tongaliプログラム、県市スタートアップ施策、ビヨンドザボーダーを始めとした中経連プログラムを全て実施予定。
- ・グローバル化については、これを機にWebで積極的に連携できる関係性を構築。
- ・ステーションA i やNAGOYA INNOVATOR'S GARAGEは、オフラインだけでなくオンラインでも人材、情報が集まるハブとしていく。

(Ex.5/27に中部経済連合会とイノベーターズガレージがバックアップして名古屋大学OICXピッチをオンラインで開催)

○共創の促進とスタートアップのテクノロジー・ビジネスを実証する場の支援

スタートアップと既存企業との共創を促進するとともに、ウィズコロナ、アフターコロナにおける新たな社会システムを創るスタートアップのテクノロジー、ビジネスの創出を支援するため、実証する場を支援していく。

- ・スタートアップと既存企業との共創を促進し、新たな社会に対応した製品・ビジネスの開発を支援。
- ・ウィズコロナ・アフターコロナへの対応に関する実証実験を実施し、新たな社会システムを構築。
- ・ディープテックにより新たな社会システムを創る大学発スタートアップを積極的に支援。



Next Societyの実現